

「病名漢方」ではない

現代医学の診断名から中医学の病態（証）を推論する

「病名弁証」の試み

現代医学の病名 ⇒ 中医学の診断名

右特発性大腿骨頭壊死による疼痛で整形外科に長年通院中で
多くの愁訴・既往歴がある61歳男性

高嶺の森の診療所

フジ虎ノ門整形外科病院 東洋医学総合診療科

関 隆志

多くの愁訴があり整形外科から紹介された61歳男性

- 視野が二重に見える：入院中の11月にテレビを観て変に思った
- 眼鏡をかけて運転するのは大丈夫だが、眼鏡をかけて買い物をするとうらつく
- 狭い部屋は大丈夫 リハビリテーションの部屋のように広いところだと目や頭が張ってくる
- 両こめかみがバンバンに張る感じ
- 両顎関節が痛い
- ひどいときは鼻、目が痒い
- レスタミンコーワを塗ってから皮膚掻痒感が軽快した
- 寒くなると後頭部から肩甲骨の間が固まる 12月になってから
- 右股関節痛のためロキソニンを1日1, 2回のむ
- 30歳台から手足冷たい 湯たんぽないと眠れない
- 5年前頃から夜間尿5, 6回 調子よい日は2,3回
- 36歳 突発性難聴 左耳聞こえない 左耳鳴り シャーという音
- 7年前 右耳鳴り ちょっと左より高めの音 ツウーという音
- 左耳が聞こえないので携帯電話で右耳だけ使うと右耳が熱くなる

多くの既往歴

左突発性難聴（2000～）

右太腿疼痛出現（2008/03/08～）

不眠症（2009/08/04～）

難治性逆流性食道炎（
2011/05/17～）

右突発性難聴（2016～）

末梢神経障害（2016/06/11～）

右特発性大腿骨頭壊死（2018
～）

高血圧症（2020/02/05～）

ドライアイ（2020/10/21～）

両頸部軟性線維腫（2020/03/19
～）

右突発性大腿骨頭壊死（2020
～）

足白癬（2020/03/19～）

こむら返り（2021/03/16～）

胃炎（2021/06/19～）

高尿酸血症（2021/11/10～）

両踵部角皮症（2022/05/13～）

爪白癬（2022/05/13～）

乾皮症（2023/05/13～）

アレルギー性鼻炎（2023/05/13
～）

背部打撲傷（2024/11/21～）

皮膚掻痒症（2024/11/22～）

右顎関節症（2024/12/24～）

診察なしで
愁訴と既往歴から弁証しましょう

現代医学疾患の証の例

現代医学疾患の中医学証の例

大腿骨頭壊死	肝肾亏虚、气血瘀滞
不眠症	心火炽盛、心虚胆怯、肝火上亢、脾胃不和、痰热扰心、肾阴亏虚、心肾不交、心脾两虚、阴虚火旺
逆流性食道炎	肝胃不和、脾胃虚弱、胃阴不足、痰湿中阻、肝胃郁热
末梢神経障害	气虚血瘀、肝肾阴虚、脾胃虚弱、痰湿阻络
高血压症	肝阳上亢、肝肾阴虚、阴虚阳亢、痰湿内阻、肝火旺盛

現代医学疾患の中医学証の例

ドライアイ	肝腎陰虚、肺陰不足、気陰兩虚、脾胃虚弱、脾胃湿热、 痰湿内阻、邪热留恋
こむら返り	肝腎陰虚、气血不足、痰湿阻络、肝阳上亢
胃炎	肝腎陰虚、气血不足、痰湿阻络、肝阳上亢
高尿酸血症	湿热蕴结、痰湿阻滞、瘀热互结、肝腎陰虚
踵部角皮症	血瘀、湿热蕴结、肝腎陰虚

現代医学疾患の中医学証の例

爪白癬	风热、湿热、热邪侵袭肌肤
乾皮症	毒热蕴结、热毒挟湿、热盛伤阴
アレルギー性鼻炎	肺气虚寒、脾气虚弱、肺经伏热、肾阳不足
打撲傷	气滞血瘀、经络闭阻
皮膚掻痒症	血虚风燥、肝胆湿热、脾胃湿热、风热、肾阳不足

現代医学疾患の中医学証の例

顎関節症	肝郁脾虚・筋脉痹阻、风寒湿阻、肝胃不和、气血瘀滞
足白癬	湿热蕴结、血虚风燥、脾虚湿盛
頸部軟性線維腫	肝郁气滞、痰湿凝结、气血两虚、肝肾阴虚
軟性線維腫	肝郁气滞、痰湿凝结、气血两虚、肾阳虚

診察前の病名弁証

既往歴の情報のみで弁証する

- 血虚

- 視力障害、ドライアイ、不眠症、両踵部角皮症、乾皮症、皮膚そう痒症、こむら返り

- 痰湿

- アレルギー性鼻炎、足白癬、副鼻腔炎、両頸部軟性線維腫

- 肝気鬱結・肝火犯胃

- こめかみ・目・頭が張る、目が痒い、両顎関節が痛い、胃痛

- 腎陽虚

- 四肢の冷え、夜間多尿、難聴、大腿骨頭壊死

初診の診察で得られた情報

主訴

鼻閉を治したい

職歴

中華、ホテルのマネージャー あまり寝ないで仕事
30歳台から50歳台までラブホテルを何年かみていた
24時間電話が来るので精神的につらかった
円形脱毛症になった

運動歴

小学、中学 野球、卓球

喫煙歴

15歳から1日1箱 部屋の壁が黄色になっている 調子が悪い
ときは吸わない

飲酒歴

あまり好きでない 美味しくないので2年前にやめた

性格

恐がり
親の顔を見て育ったので親の顔を見たくない
いろいろな医者にかかって、悪くないと言われ、医者を信用できない

腹診：心窩部がつめたい へその直上を押されて違和感がある ガス+

腰：あたたかい

脈診：弦

舌診：やや暗紅、裂紋+、白簿苔（自分で苔をとっている）
、舌下脈絡+

診察をして弁証
そして治療方針を決める

治療方針の決め方

肝気鬱結・肝火犯胃

弁証
から



患者の
希望

鼻閉を治したい



治療
方針

加味逍遙散

葛根湯加川芎辛夷

初診時に処方した方剤

ツムラ24加味逍遙散エキス顆粒（医療用） 2.5g 4包

1日4回 朝昼夕食前30分と寝る前

ツムラ2葛根湯加川きゅう辛夷エキス顆粒（医療用） 2.5g 4包

1日4回 朝昼夕食前30分と寝る前

ツムラ加味逍遙散エキス顆粒（医療用）

女科撮要

- 構成生薬

- 当帰3;芍薬3;白朮3(蒼朮も可);茯苓3;柴胡3;牡丹皮2;山梔子2;甘草1.5-2;生姜1;薄荷葉1

- 適応症

- 肝気鬱結、肝鬱気滞、肝脾不調、肝胃不和、肝気犯胃、肝鬱化火、心肝火旺、肝鬱血虚、肝経鬱熱、肝経虚熱

- 効能

- 疏肝理気、疏肝解鬱、養肝疏肝、清熱涼血、清熱利湿、瀉火解鬱、肝火、湿熱

ツムラ葛根湯加川芎辛夷エキス顆粒（医療用）

本朝経験

- 構成生薬

- 葛根4; 大棗3; 麻黄3; 甘草2; 桂皮2; 芍薬2; 辛夷2; 川芎2; 生姜1

- 適応症

- 肝気鬱結、肝鬱気滞、肝脾不調、肝胃不和、肝気犯胃、肝鬱化火、心肝火旺、肝鬱血虚、肝経鬱熱、肝経虚熱

- 効能

- 疏肝理気、疏肝解鬱、養肝疏肝、清熱凉血、清熱利湿、瀉火解鬱、肝火、湿熱

川芎

せんきゅう

- 基原

- セリ科Umbelliferaeのマルバトウキ属植物Ligusticum chuanxiong HORT.の根茎。原名は川窮（くさかんむり）。日本産は、同科のセンキュウCnidium officinale MAK.の根茎を通常湯通しして乾燥したものである。

- 分類

- 理気薬・活血化瘀薬

- 効能

- 辛,温,肝胆心包,活血行気,去風止痛

辛夷

しんい

- 基原

- モクレン科Magnoliaceaeのモクレン*Magnolia liliflora* DESR., ハクモクレン*M. denudata* DESR.などの花蕾。日本産はタムシバ*M. salicifolia* MAXIM. やコブシ*M. kobus* DC.に由来する。

- 分類

- 解表薬・辛温解表薬

- 効能

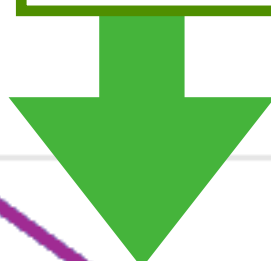
- 辛,温,肺胃,散風解表,宣肺通鼻

治療の経過

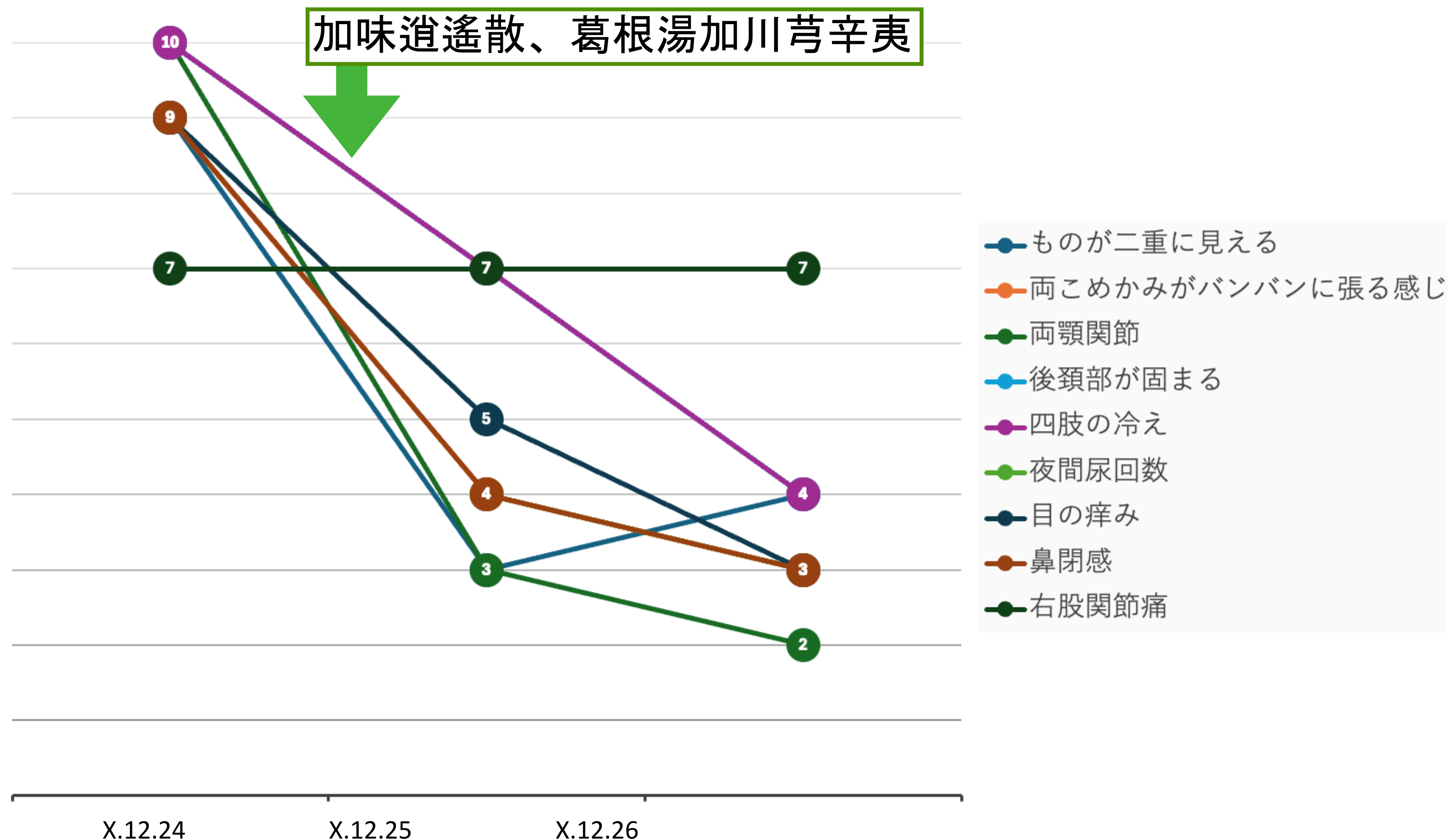
治療開始直後の症状の重症度の変化 (NRS)

最も強い 10

加味逍遙散、葛根湯加川芎辛夷

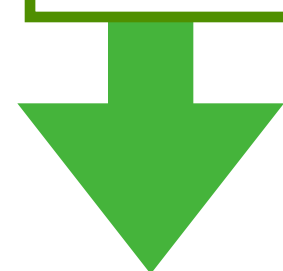


症状がない 0



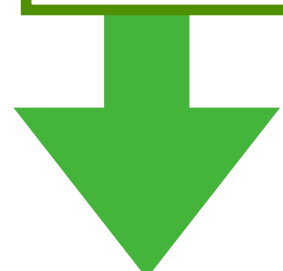
第4診以降の症状の重症度の変化 (NRS)

加味逍遙散・葛根湯加川芎辛夷



右股関節痛に対して疎経活血湯を追加

加味逍遙散・葛根湯加川芎辛夷 + 疎経活血湯



症状	X.12.24	X.12.25	X.12.26	X+1.1.6	X+1.1.8	X+1.1.9
ものが二重に見える	9	3	4	5	5	8
両こめかみがバンバンに張る	9	4	3	5	5	7
両顎関節	10	3	2	2	2	2
後頸部が固まる	10	7	4	6	6	7
四肢の冷え	10	7	4	5	4	0
夜間尿回数		4	3	3	3	3
目の痒み	9	5	3	2	2	6
鼻閉感	9	4	3	1	2	8
右股関節痛	7	7	7	7	7	6

10 最も強い



0 症状がない



第4診以降の症状の重症度の変化 (NRS)

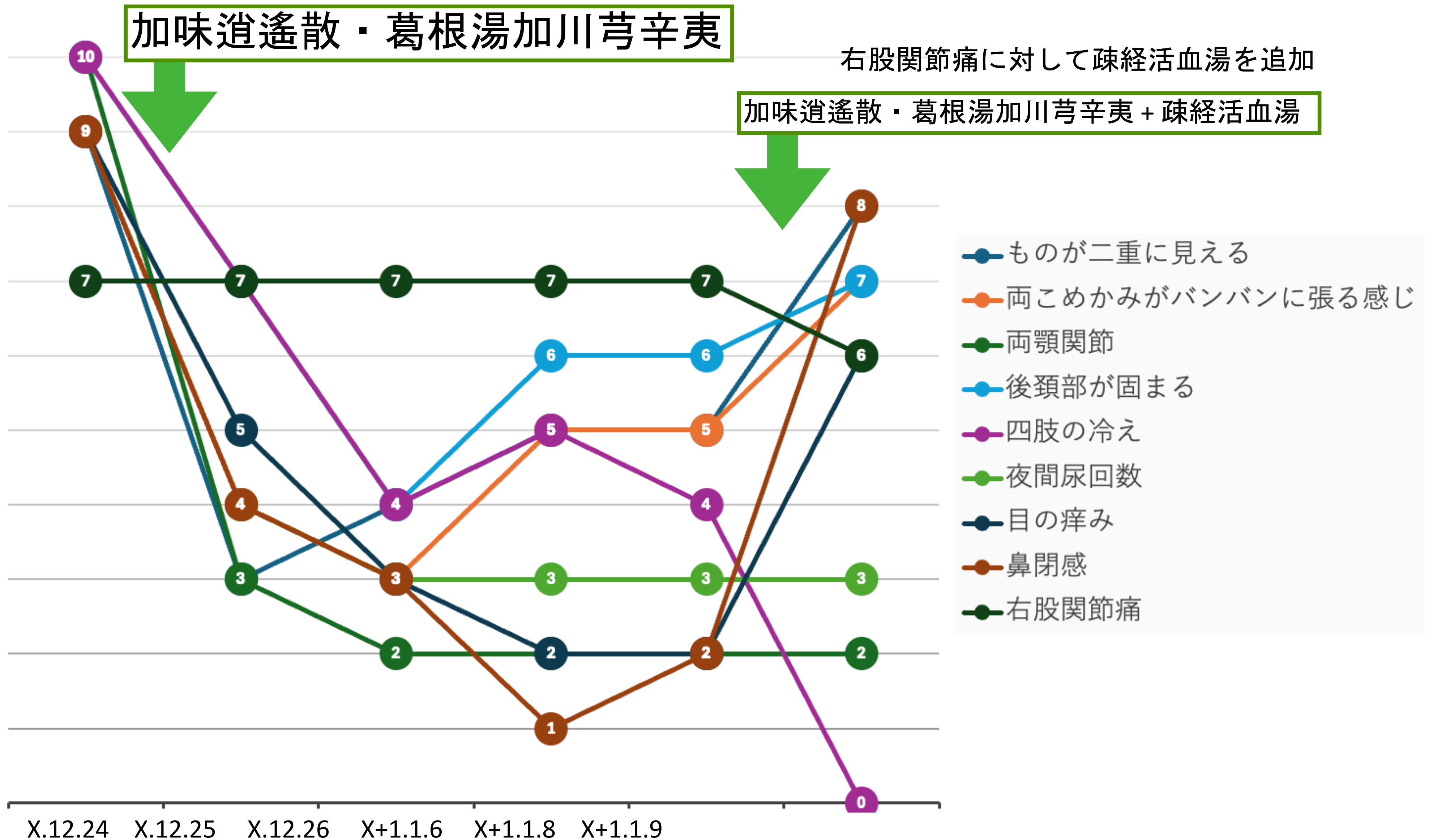
最も強い 10

加味逍遙散・葛根湯加川芎辛夷

右股関節痛に対して疎経活血湯を追加

加味逍遙散・葛根湯加川芎辛夷 + 疎経活血湯

症状がない 0



ツムラ疎経活血湯エキス顆粒（医療用）

万病回春

- 構成生薬

- 芍薬2.5; 地黄2; 川芎2; 蒼朮2; 当帰2; 桃仁2; 茯苓2; 威霊仙1.5; 羌活1.5; 牛膝1.5; 陳皮1.5; 防已1.5; 防風1.5; 竜胆1.5; 甘草1; 白芷1; 生姜0.5

- 適応症

- 血瘀気滞

- 効能

- 去風湿、補血活血

考えましょう
なぜ第4診で増悪したのか

その後

- 本人の希望で精神科病院を紹介
- 当院には引き続き通院の予定

「病名弁証」の利点と欠点

- 利点

- 現代医学の診断名で「弁証」できる
- 診察しないで「証」の見当をつけられる
- 既往症が多いほど弁証しやすい

- 欠点

- 診察が不可欠（当然のこと）
- 現代医学の疾患に対する証の知識が必要